

Q. 子どもの学力が心配

Q. 常設ギャラリーを



青田 良一 議員

公共施設の文化化促進を

質問 時代の変遷に応じ本町の公共施設を見直し、より利用しやすい施設となるよう整備してはどうか。例えば、家庭ではトイレ便器の洋式化が進んでいることを受け、公共施設のトイレ改善を実施する。また、公共施設周辺環境等をより充実させ、後世にも自慢できる景観をつくる、すなわち、公共施設の文化化を促進するよう求めたい。

町長 トイレ便器の洋式化については、緊急度の高いものから計画的に進めているので、今後も同様の方針で整備する。また、今、行財政改革に取り組んでいる最中であり、現公共施設の適正かつ効果的な維持管理に努め、町民の皆さんが使いやすく親しみやすい施設にしていく。従っ

て、公共施設の見直し、大幅な整備については困難な状況である。

全国学力テストの結果と今後の取り組みについて

質問 全国学力テストで北海道は小学校6年生が全国46位、中学生が44位と低い結果となったが、今後、児童生徒の学力向上にどのように取り組んでいくのか。

教育長 教育委員会は、本町の学力テスト結果が全国・全道平均と比べどの位置にあるかは把握しているが、学校の序列化やいたずらに競争心を煽ることに繋がりがかねないので公開はできない。今回の学力テストの結果「国語や算数・数学が好きだ」「学習したこと」は将来役に立つ」と考えている児童生徒の割合が全国平均と比べ少ないことが課題となった。

今後、この学力テスト結果だけではなく、他のテスト結果とあわせて評価・検討を実施し、引き続き、一人一人に応じたきめ細やかで適切な指導を行うことが重要である。

読解力の低下には「朝の読書」など全校一斉の読書活動を実施し、小学校の算数、中学校の数学と英語の基礎学力の充実や学習意欲の喚起を図るべく、チームティーチングによる指導、町費による講師配置などの指導体制充実に努める。

教育の振興方策について

質問 教育基本法の改正、学習指導要領の改訂が予定されているが、どのように対応していくのか。

教育長 教育基本法の示す方向性や学習指導要領の改訂は、公教育の推進や教育水準向上に適切に生かされなければならぬ。本町の歴史や文化を大切にしつつ、法令等に示すところに従い、計画的、系統的、組織的に教育を推進する。



後木 幸里 議員

常設ギャラリーの設置を

質問 本町の文化活動は高い水準で活発な活動が展開されていると思う。この活動をより助長する意味と町民に鑑賞機会を提供し文化活動への理解を深める場となる「常設ギャラリー」を設置しては。

教育長 文化活動に対する意識の高揚を図るため、町民の文化作品公開は大変意義深いものと思う。ご質問の常設ギャラリーは、日常的な文化活動発表の機会を充実するとともに新たな創作活動の励みにもなるものと思う。しかし、今日の財政事情等を勘案すると新たな場所の設置は困難であり、これまでご利用いただいている改善センター、ゆめりあ、図書館等を活用いただきたい。